

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
理念に基づく運営						
1. 理念の共有						
1	1	地域密着型サービスとしての理念	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として挙げている。新人教育の段階からその理念を伝えている		
2	2	理念の共有と日々の取り組み	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	地域の盆踊り、敬老会や運動会、避難訓練などの行事に積極的に参加する中で理念の共有を図っている(地域密着)		
3		家族や地域への理念の浸透	事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	毎日の日課である散歩や買い物等の外出時の挨拶をはじめとして、公園での地域の方々とのふれあいを大事にしている		
2. 地域との支えあい						
4		隣近所とのつきあい	管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方々との挨拶をはじめとして、自治会の行事に参加している中で、近隣の方々が古新聞や古着等を持ってきて下さっている		
5	3	地域とのつきあい	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	積極的に出席しているが、高齢者の多い地区につき人数の関係上参加できない場合もある		
6		事業所の力を活かした地域貢献	利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域のコーラス団体等からもサークル活動にご利用者のみならず職員も参加して欲しいとお誘いがあり、検討している		今後、地域の社会貢献が出来ないか検討していく
3. 理念を実践するための制度の理解と活用						
7	4	評価の意義の理解と活用	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	リーダーと職員で話し合っ、自己評価をした。		今回が初めての外部評価なので、この結果を真摯に受け止めたいと考えている
8	5	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議開催そのものもまだ2回で、各種の報告はしているがサービスに活かすご意見はまがいただけていないので、今後の課題と考えている		今後の運営推進会議を活用し、地域のモニター役と据え、サービスに生かしていきたい
9	6	市町村との連携	事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	社会援護課や介護保険課のやり取りはしている		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護、成年後見制度等の研修会にも積極的に参加している		
11		虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	千葉県高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修基礎過程、専門課程等の研修に参加し、それを職員にフィードバックしている		
4. 理念を実践するための体制						

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
12		契約に関する説明と納得	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明や相談には時間をかけ、理解・納得をしていただいている		
13		運営に関する利用者意見の反映	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情処理についても、窓口についても家族に説明をしているし、出てきた問題には職員間で検討会を設けて対処している		
14	7	家族等への報告	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	支援経過として報告している		
15	8	運営に関する家族等意見の反映	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者同様に行っている		
16		運営に関する職員意見の反映	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度、職員間で全体ミーティングを開催し職員の意見を聞く場を設けている		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	努めてはいるが、家族の面会時間を決めていない、いつでも来てくださいとしているので、特別に職員を確保までは至っていない		家族が来ていただいた際には、必ず近況報告をし、管理者や職員と話す時間をもっと増やしていきたい
18	9	職員の異動等による影響への配慮	運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をして	職員の異動は最小限にしたいと勤めており、また異動時は必ず利用者、家族に報告している		
5. 人材の育成と支援						
19	10	職員を育てる取り組み	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修をはじめとして各種内部研修を開催しているほか、外部研修にも参加してもらっている		
20	11	同業者との交流を通じた向上	運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	千葉県グループホーム連絡会、千葉市グループホーム連絡会に所属、定例会などに積極的に出席している		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み	運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	会社の福利厚生での取り組みとして環境づくりされている		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み	運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は管理者、職員のモチベーションを上げる努力をおしまない		褒めるところは褒め、認めるところは認め、主体性をもった仕事に臨める努力をしていきたい
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
23		初期に築く本人との信頼関係	相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人・家族の相談には懇切丁寧に対応し、相談援助を心がけている		
24		初期に築く家族との信頼関係	相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	〃		
25		初期対応の見極めと支援	相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者は今までの経歴を活かし、その対応に努めている		

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
26	12	馴染みながらのサービス利用	本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居を勧めたり、利用者の気持ちを尊重した対応を心がけている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援						
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	この仕事は本人から、家族から学ぶことが基本と認識している		
28		本人を共に支えあう関係	家族との職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いて	本人・家族の喜怒哀楽に付き合う努力は惜しまない		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援	これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	たとえ介護している場が自宅とホームとに分かれていても、家族も職員も一緒に介護している思いでいる		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出来る限り努力はするが、いつもと言うわけには行かないのが現状		個別に馴染みの場所へお連れするには、時間的、人間的な制約があり、今後の課題である
31		利用者同士の関係の支援	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	当事者同志の関係性が大切と考え、支え合えるように支援しているつもりである		努めて支えあいを大事にしているつもりだが、なかなかうまくいかない入居者の状況もある
32		関係を断ち切らない取り組み	サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約が終了した方はいないので時間はないが、大切にはしたいという思いはある		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
1. 一人ひとりの把握						
33	14	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメント、課題分析を基にケアプランを立てているので、これは「本人本位に検討している」と判断する		
34		これまでの暮らしの把握	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	"		
35		暮らしの現状の把握	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	"		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し						
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	サービス担当者会議を随時開催し、意見を総合して介護計画を策定するようにしている		
37	16	現状に即した介護計画の見直し	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じて見直しをしているし、カンファレンスを月に一度開催している 合わせて変化のあるときはそれに応じてプランの変更をしている		

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
38		個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録は日勤帯、夜勤帯に分け毎日記載しているし、プランの見直しに活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援						
39	17	事業所の多機能性を活かした支援	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホームならではのサービスに努めているが、事業所の多機能性を活かすという意味合いが難しい		外出の機会を増やし、地域に出て行くサービスを続ける中で多機能性を考えていきたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働						
40		地域資源との協働	本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	体制は考えているが、現実問題として本人の意向を尊重した協力、協働までは至っていないのではないだろうか		本人も含めた消防訓練は開催しているが、これは本人の意向と言うものではない
41		他のサービスの活用支援	本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現実に利用しているのは、精神科デイケアへの通所		
42		地域包括支援センターとの協働	本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要に応じて協働したいとは考えている		家族や親戚の方が後見人になる手続きをしている方が3名いるが、まだ包括を利用したことが無く、今後の課題
43	18	かかりつけ医の受診支援	本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	これは適切に行っている、連携を図っている、助けていただいている		
44		認知症の専門医等の受診支援	専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	精神科の医師との協力を得ている		
45		看護職との協働	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	かかりつけの医療機関の看護師とは気軽に相談できる関係性を作っている		
46		早期退院に向けた医療機関との協働	利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携し	医療機関とのカンファレンスは実際に行っているし、大事だと考えている		今後必要に応じて開催していきたい
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	出来るだけ要介護度の高い利用者の家族には、そうした対応をしている		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援	重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	終末期を迎えた利用者をまだ経験していないので、知識としての準備にとどまっている		日々、入居者の状態を報告している際に努めて今後の家族の終末期に対する意向とホームでの限界については話している
49		住み替え時の協働によるダメージの防止	本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに	特別養護老人ホームに転居予定の利用者がいるので、この件については情報交換、家族との意思疎通を図っている		
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
1. その人らしい暮らしの支援						
(1) 一人ひとりの尊重						

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
50	20	プライバシーの確保の徹底	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	損ねるような対応をしない努力を心がけている		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援	本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	出来る限り本人に決定させるように促し、見守り、支援しているつもりである		
52	21	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ひとり一人のペースを大切に、出来るだけ本人の希望に沿うようにしているが、人間としての生活ペースを守ることも大切である		基本的には努力はするが、薬の服薬時間や守るべきものがある場合は、その日を本人の過ごしたいように過ごさせるばかりではないこともある
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援						
53		身だしなみやおしゃれの支援	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	行きつけのところにお連れするようにしている		
54	22	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	してもらっている		
55		本人の嗜好の支援	本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	そうしているが、アルコールの問題のある利用者には、それが全てではない		
56		気持ちよい排泄の支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	本人の気分を大事にしつつ、時間誘導		
57	23	入浴を楽しむことができる支援	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には努力はしているつもりだが、日中人員の余裕のある時間帯に入浴してもらっている		見守り、介助量の多い利用者の中で、一人介助者が入浴に入ってしまうと、フロアがおろそかになり、危険が伴うリスクを考えてしまう
58		安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	定期的な布団干し、シーツ交換をして衛生管理と共にいつでも急速の取れる環境作り		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援						
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個別対応、アクティブの工夫で、生きがいの見出せるケアを心がけている		
60		お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	理解している利用者には行っている		
61	25	日常的な外出支援	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	出かけられる環境を作っている		
62		普段行けない場所への外出支援	一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	希望があればその支援はしていきたいものである		時間的、人員的、費用的なものを総合して、なるべく希望を生かして行きたいと思っている
63		電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に添って支援している		

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
64		家族や馴染みの人の訪問支援	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	自宅でもてなすように、ホームでもそうしている		
(4) 安心と安全を支える支援						
65		身体拘束をしないケアの実践	運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束、虐待の研修を受けた職員からの研修報告や月に一度の勉強会でも取り上げ、取り組んでいる課題である		身体拘束、虐待の研修を受けた職員からの研修報告や月に一度の勉強会でも取り上げ、取り組んでいる課題である
66	26	鍵をかけないケアの実践	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵はかけていない		
67		利用者の安全確認	職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	配慮している		
68		注意の必要な物品の保管・管理	注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	はさみ等使わせないのではなく、職員が見守り危険を回避できる環境で使わせている		
69		事故防止のための取り組み	転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハット、事故報告書の作成徹底と共に事故防止について予測、防止策の徹底もあわせて取り組んでいる		
70		急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている			消防署の開催している応急処置の講習に出来るだけ早い時期に参加したいと考えている
71	27	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域運営会議、地域の防災訓練を中心に地域の方たちの理解と協力をお願いしている		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い	一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクマネジメントは大事と考え、家族にはよくお話しし、納得していただくようにしている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援						
73		体調変化の早期発見と対応	一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	そうしていききたいと日夜努力している		介護者は「観察」が大事であると常々指導
74		服薬支援	職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	研修会や勉強会で薬に関する知識を得ると共に、利用者が服用している薬には必ず注釈を読み効果や副作用に関して確認をしている		
75		便秘の予防と対応	職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘については運動もさることながら、食品、献立の工夫もしている		
76		口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアは大事と考え、食後の口腔ケアと共に歯科医の定期的な受診も受けて指導を受けている		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チャートを用い、一日を通してその経過を追っている		
78		感染症予防	感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防の知識を持ち、対策を講じている		

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
79		食材の管理	食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	清掃をこまめにしている、夜勤帯での消毒を始めとして、加熱をした調理を心がけている 手洗いうがいは職員のみならず来訪者にも徹底		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり						
(1) 居心地のよい環境づくり						
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫	利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節の草花や野菜を利用者と共に植え、育てている 誰が見ても季節感、清潔感のある環境を目指している		
81	29	居心地のよい共用空間づくり	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花、飾り物を含め入居者の手作りの装飾品等を活用し工夫している		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり	共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者の希望を尊重しながら、具体的な工夫と言うより配慮はしている		
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の希望に添って支援している 使い慣れたものを持ってきていただき、本人の「場所」と言う落ち着いた場所と認識できる空間であるように私たちも心がけるし、家族にも協力してもらっている		
84		換気・空調の配慮	気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	冬季は加湿器の準備も家族にお願いをしている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり						
85		身体機能を活かした安全な環境づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	工夫や努力をしている		
86		わかる力を活かした環境づくり	一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	努力している		
87		建物の外周りや空間の活用	建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	園芸などを通し、活かしているつもりである		

自己評価票

項目番号		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
自己 評価	外部 評価	タイトル	
サービスの成果に関する項目			
88		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<u>ほぼ全ての利用者の</u> <u>利用者の2/3くらいの</u> 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89		利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<u>毎日ある</u> <u>数日に1回程度ある</u> たまにある ほとんどない
90		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<u>ほぼ全ての利用者が</u> 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91		利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<u>ほぼ全ての利用者が</u> <u>利用者の2/3くらいが</u> 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<u>ほぼ全ての利用者がこころへ出かけている</u> 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<u>ほぼ全ての利用者が</u> <u>利用者の2/3くらいが</u> 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	
95		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<u>ほぼ全ての家族と</u> 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどいない
96		通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<u>ほぼ毎日のように</u> <u>数日に1回程度</u> たまに ほとんどない

項目番号		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
自己 評価	外部 評価	タイトル	
97		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている <u>少しずつ増えている</u> あまり増えていない 全くいない
98		職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が <u>職員の2/3くらいが</u> 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99		職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が <u>利用者の2/3くらいが</u> 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100		職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が <u>家族等の2/3くらいが</u> 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない